

第3期天草市御所浦地域まちづくり計画

～豊かでいきいきとした暮らしのある島づくり～

天草市 御所浦地域

策 定 日	令和5年3月1日
改 正 日	

第3期天草市御所浦地域まちづくり計画 目次

1	計画のあらまし	1～2
1.1	計画策定の趣旨	1
1.2	計画の性格	1
1.3	計画の期間	1
1.4	計画の体系	2
2	御所浦地域の概要	3～6
2.1	位置・地勢	3
2.2	面積・土地利用	3
2.3	人口・世帯数	4～6
3	計画の基本方針	7
3.1	計画の基本理念	7
3.2	部門方針	7
4	分野別行動計画	8～13
4.1	産業経済部門	8
4.1.1	特色・課題	8
4.1.2	具体的な振興方策	8
4.2	観光・文化部門	9
4.2.1	特色・課題	9
4.2.2	具体的な振興方策	9
4.3	地域振興部門	10
4.3.1	特色・課題	10
4.3.2	具体的な振興方策	10
4.4	教育部門	11
4.4.1	特色・課題	11
4.4.2	具体的な振興方策	11
4.5	保健・医療・福祉部門	12
4.5.1	特色・課題	12
4.5.2	具体的な振興方策	12
4.6	生活環境・防犯防災部門	13
4.6.1	特色・課題	13
4.6.2	具体的な振興方策	13

5	計画の推進体制	14
5.1	実施	14
5.2	評価・改善	14
6	地域別計画	15～34
6.1	御所浦地区振興計画	15～18
6.2	御所浦南地区振興計画	19～22
6.3	御所浦北地区振興計画	23～26
6.4	牧島地区振興会	27～30
6.5	嵐口地区振興会	31～34

1 計画のあらまし

1.1 計画策定の趣旨

平成18年3月27日、2市8町が合併して天草市が誕生しました。市内各地域には、素晴らしい自然や独自の文化、歴史、豊かな農林水産資源、さらには、日々の生活で育まれた相互扶助の精神など、全国に誇れる地域資源が数多くあります。

しかしながら、今日、本市においては、人口減少の急速な進展による過疎地域の増加や担い手不足による地域産業の衰退、さらには市民ニーズの多様化や少子高齢化への対応など多くの課題を抱えております。

このような地域社会を取り巻く環境の変化を、住民一人ひとりが「自分ごと」、「みんなごと」と捉え、地域住民と行政協働のもと、地域の特色や個性を活かした活動をできるところから実行し、「地域力」を高めていくことが重要になっています。

まちづくりに関する施策を効果的・効率的に推進するためには、地域住民と行政が一体となって、体系的・計画的に取り組む必要があるため、本地域のまちづくりの指針となる「天草市御所浦地域まちづくり計画」を策定し、「未来へ続く魅力ある地域づくり」を推進し、その実現を目指すものです。

今回、第2期天草市御所浦地域まちづくり計画を検証し、地域の課題等を再確認するとともに内容の見直しを行いました。

1.2 計画の性格

本計画は、次のような性格を持っています。

- ① 長期的・総合的な視点から、本地域が目指す今後のまちづくりの基本的な方向を示しています。
- ② 本市が策定する「第3次天草市総合計画基本計画」と方向性を共有しながら、地域が主体となって策定する計画として策定します。
- ③ 本地域の地域住民や行政機関のみならず、まちづくり関係団体、企業、学校など、地域全体でまちづくりに取り組む方向性を示しています。

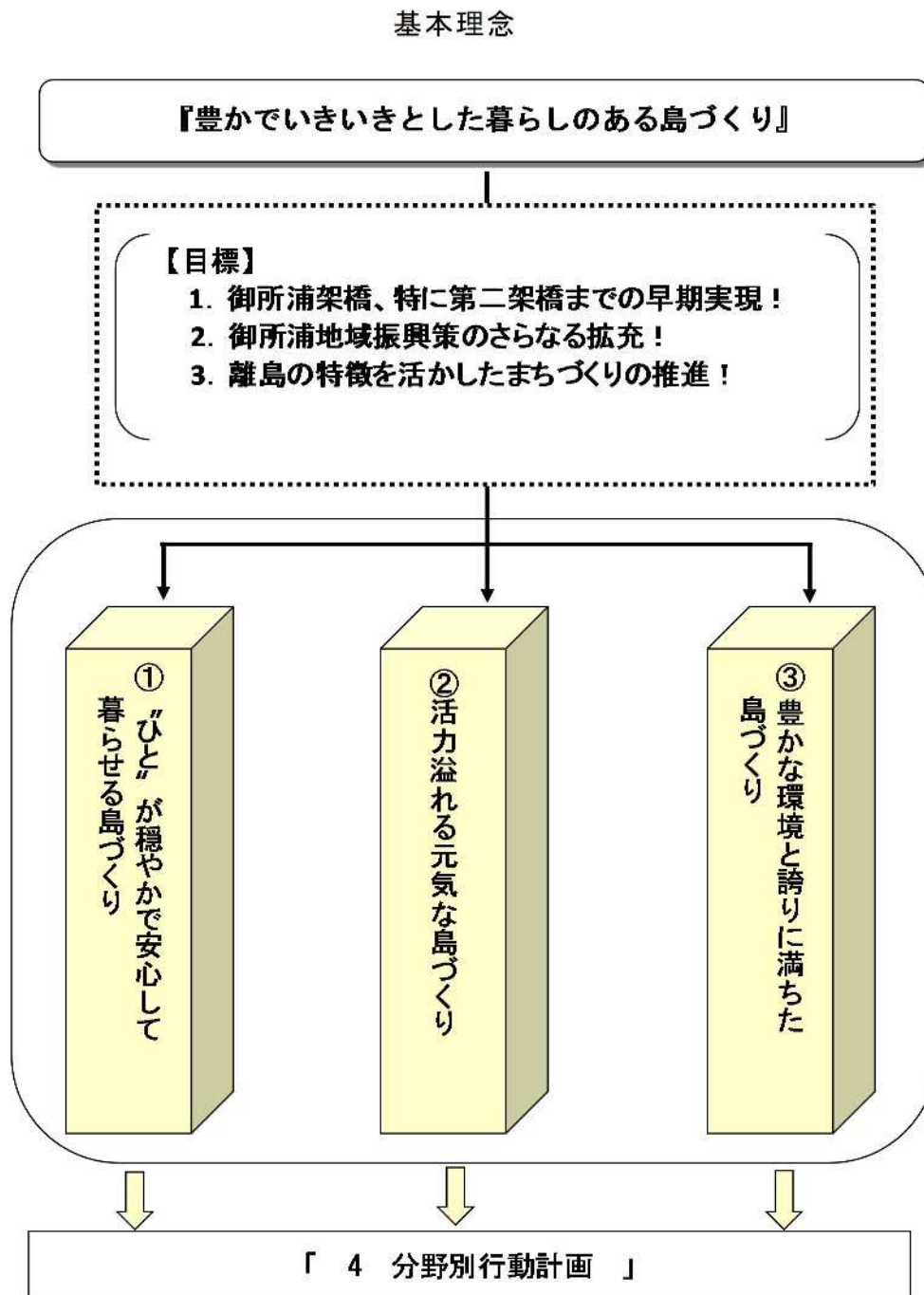
1.3 計画の期間

本計画の期間は、令和5年度から令和7年度までの3年間です。

また、実現すべき施策目標を設定するとともに、その施策目標を達成するために必要な計画を示したものです。

1.4 計画の体系

図1 天草市御所浦地域まちづくり計画の方策の体系



御所浦地域では、これまでの取り組みに加え、地域振興のための重要な3本の柱に基づき、必要な施策を積極的に推進することにより、本地域が持つ課題を解決しながら、島民一人ひとりが「豊かでいきいきとした暮らしのある島づくり」の実現を目指します。

2 御所浦地域の概要

2.1 位置・地勢

本地域は離島の町であり、雲仙天草国立公園内の天草諸島南東部に位置し、御所浦島・牧島・横浦島の3つの有人島を主軸に、大小18の島々で御所浦群島を形成、不知火海に浮かぶ自然豊かな地域です。

全国的にも『恐竜の島』と知られ、また、御所浦島の最高峰“烏峠”からは、鹿児島・宮崎・長崎・熊本の4県を一望できる大パノラマとコバルトブルーの不知火海を望むことができ、(公財)日本離島センターによる全国の島々を対象とした「しま山100選」にも選定されました。

近年、自然学習や漁業体験等、体験プログラムを活用した取り組みにより、たくさん子どもたちが御所浦地域を訪れるようになりました。

図2 御所浦地域位置図



2.2 面積・土地利用

本地域の総面積は20.61km²で、天草市面積の約3.0%を占めています。

土地利用については、全体の約89%を農地・山林で占めており、宅地・道路用地については約5%となっています。

表1 御所浦地域土地面積(2018(平成30)年10月1日現在)

	御所浦地域	天草市
面積(km ²)	20.61	683.87
割合(%)	3.01	100

(国土地理院九州地方測量部)

2.3 人口・世帯数

本地域の人口については表2のとおり年々減少し、平成17年から令和2年までの15年間で1,297人、35.9%の減少となっています。

島の基幹産業である水産業は、漁業資源が減少し、燃料や養殖飼料の高騰、魚価の低迷により益々深刻な状況に陥っており、雇用の場も減少して人口の流出が止まらずに過疎化・少子高齢化が急速に進んでいます。

島民の悲願である架橋事業は「御所浦町の日常生活の利便性と離島解消による地域活性化を目指す」ことを目的として、平成12年度に事業採択されましたが採択後22年を経過し、令和4年度時点で事業は「休止」となっており、近い将来での「離島からの脱却」は非常に厳しく、これまで同様の離島という環境下での生活が続くこととなります。

現在、5つの地区振興会が創意工夫を凝らしながら「地域の特性を活かした地域づくり」を推進していますが、少子高齢化に伴う急速な人口減少によりコミュニティ活動が思うようにいかない状況も見受けられ、地区振興会の活動がどこまで継続できるか懸念されています。

しかしながら、コミュニティ活動の推進は地域を維持し、形成していくために最も重要なものであり、希薄化しつつある地域の連帯感を醸成するうえでリーダーの養成と意識の改革を図りながら活動を推進していく必要があります。

また、このような現状は、早期での問題解決は難しく、離島という特殊な環境と社会情勢の現実を受け止めて、島に住む一人ひとりが意識を高め、行政との協働のもと「自立と協働」を合言葉に、如何にしてまちづくりを進めていくかが大きな課題です。

表2 御所浦地域の人口、世帯数の推移

区分	平成17年	平成22年	平成27年	令和2年
人口（人）	3,615	3,163	2,735	2,318
世帯数（世帯）	1,366	1,245	1,157	1,060
世帯当たり人員（人）	2.65	2.54	2.36	2.19

（国勢調査）

図3 御所浦地域の人口、世帯数の推移

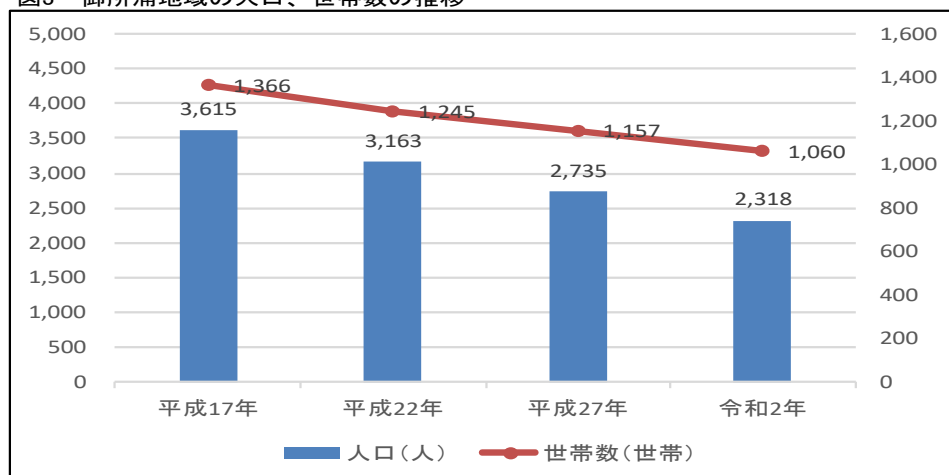


表3 御所浦地域の総人口、年齢階層別人口の推移

区分	平成17年		平成22年		平成27年		令和2年	
	人口 (人)	比率 (%)	人口 (人)	比率 (%)	人口 (人)	比率 (%)	人口 (人)	比率 (%)
総人口	3,615	100.0	3,163	100.0	2,735	100.0	2,318	100.0
0～14歳	465	12.9	359	11.4	255	9.3	190	8.2
15～64歳	1,840	50.9	1,544	48.8	1,213	44.4	880	38.0
65歳以上	1,310	36.2	1,260	39.8	1,267	46.3	1,248	53.8

(国勢調査)

図4 御所浦地域の総人口、年齢階層別人口の推移

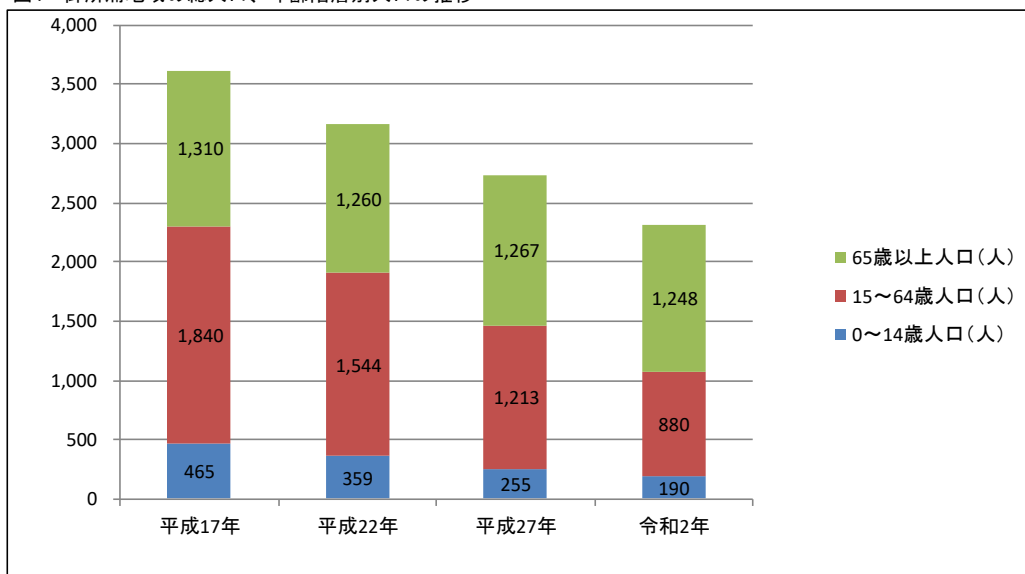


表4 御所浦地域の産業別就業者数の推移

区分	平成17年		平成22年		平成27年		令和2年	
	人口(人)	比率(%)	人口(人)	比率(%)	人口(人)	比率(%)	人口(人)	比率(%)
就業人口総数	1,447	100.0	1,247	100.0	1,068	100.0	950	100.0
第1次産業	570	39.4	419	33.6	337	31.5	295	31.0
第2次産業	221	15.3	165	13.2	161	15.1	124	13.1
第3次産業	655	45.3	663	53.2	570	53.4	531	55.9

(国勢調査)

※就業人口総数には産業分類不能者を含むため、産業別就業者数の合計とは一致しません。

図5 御所浦地域の産業別就業者数の推移

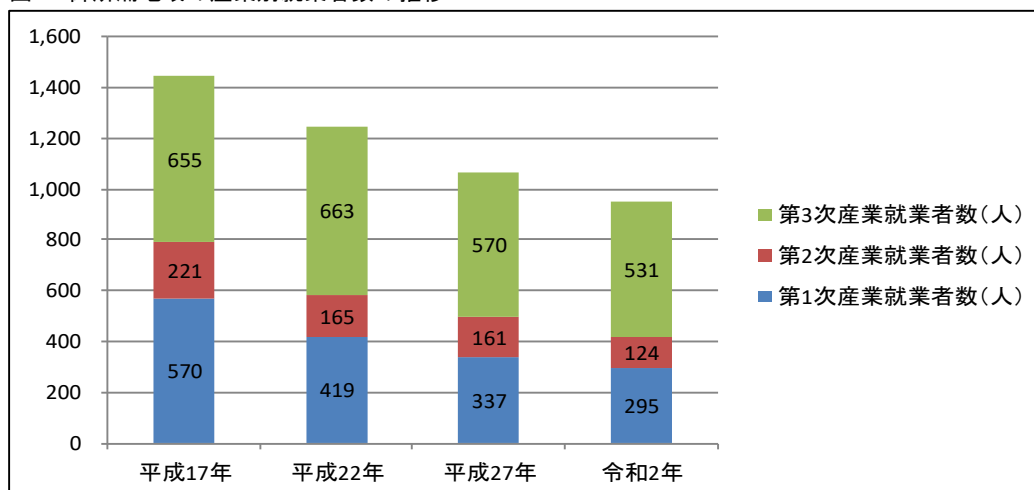


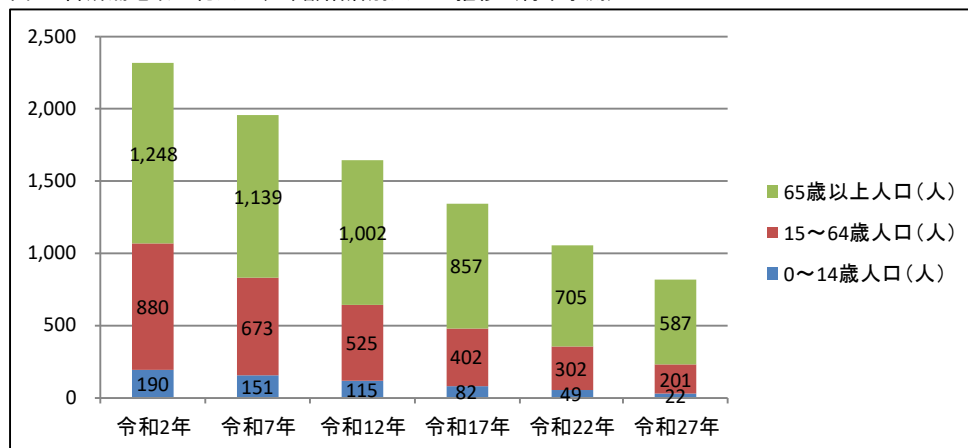
表5 御所浦地域の総人口、年齢階層別人口の推移（将来予測）

区分	令和2年		令和7年		令和12年	
	人口（人）	比率（%）	人口（人）	比率（%）	人口（人）	比率（%）
総人口	2,318	100.0	1,963	100.0	1,642	100.0
0～14歳	190	8.2	151	7.7	115	7.0
15～64歳	880	38.0	673	34.3	525	32.0
65歳以上	1,248	53.8	1,139	58.0	1,002	61.0
区分	令和17年		令和22年		令和27年	
	人口（人）	比率（%）	人口（人）	比率（%）	人口（人）	比率（%）
総人口	1,341	100.0	1,056	100.0	810	100.0
0～14歳	82	6.1	49	4.6	22	2.7
15～64歳	402	30.0	302	28.6	201	24.8
65歳以上	857	63.9	705	66.8	587	72.5

（令和2年：国勢調査、令和7～令和27年：市政策企画課）

※平成22年から平成27年の国勢調査の人口推移を基に、コーホート変化率法を用いて令和2年から令和27年までの将来予測人口を算出。

図6 御所浦地域の総人口、年齢階層別人口の推移（将来予測）



3 計画の基本方針

3.1 計画の基本理念

『豊かでいきいきとした暮らしのある島づくり』

本地域においては、架橋建設事業が長期化し、また、少子高齢化が急激に進む中で、地域住民と行政の協働のもと、年齢や性別などの違いにかかわらず、継続的にまちづくりを実践できるよう、様々な課題に計画的に取り組むことが重要となります。島に住む一人ひとりが主役となり、できることから始め、「自助」「共助」を基本に地域の資源を活かした地域づくりに取り組まなければなりません。私たちが住むこの島で、豊かでいきいきとした生活を過ごしていくために、共に考え、共に協力・支え合い、離島という他所にない特徴を活かしたまちづくりを進めていきます。

3.2 部門方針

本計画の基本理念に即し、次のとおり分野別に方針を定め、本地域のまちづくりを展開します。

① 産業経済部門

基幹産業の振興に努め、後継者育成のための補助制度の周知・活用

② 観光・文化部門

他所にはない離島を活かしたまちづくり

③ 地域振興部門

命の道、生活の道として必要な架橋建設事業（特に第二架橋）の推進

④ 教育部門

地域全体で未来を担う子どもたちの成長を支える地域学校協働活動の推進

⑤ 保健・医療・福祉部門

離島医療と関係機関との連携により、島民の医療体制を確保し、一人ひとりが自分の健康を増進するための基盤づくり

⑥ 生活環境・防犯防災部門

地域住民がお互いに見守り合い、安心・安全な暮らしを支える環境づくり

4 分野別行動計画

各地区における意見交換会等により本地域の特色と課題を分野別に洗い出し、地域主体で取り組むもの、地域と行政との協働で取り組むもの、行政主体で取り組むものを分野別に分類しました。

4.1 産業経済部門

4.1.1 特色・課題

特 色	① 鯛・カンパチ等の養殖が盛んで、旨い魚を提供している。 ② 急峻で狭い農地を利用し、デコボン等の柑橘類が栽培されている。 ③ 第1次産業を中心に島の魅力を活かした商品のブランド化や6次産業化による高付加価値化に取り組んでいる。
課 題	① 1次産業従事者は後継者も少なく、特に獲る漁業においては一部の業種を除き、従事者は減少の一途である。 ② 農地の耕作放棄地が増大している。

4.1.2 具体的な振興方策

特 色	課 題	具体的な振興方策	目標数値等	実施期間				実施主体	基本計画対応番号
				短 期			長 期		
				R5	R6	R7			
① ② ③	① ②	・島の財産を精査し、利活用していない資源の掘り起こしや6次産業化の推進並びに後継者の育成	・御所浦未来島(株)等の各種事業体と連携し地域特産品の需要拡大、土産品の開発及び後継者育成に関する勉強会等の実施 (年1回)				→	まち協 + 事業者 + 行政	政策 15

4.2 観光・文化部門

4.2.1 特色・課題

特 色	<p>① 島の交流人口は、観光客や勇志国際高校のスクーリング等を要因として増加傾向にある。また、平成27年度から地域振興策として実施している宿泊型のマラソン大会「島あじマラソン大会」や令和元年度から実施している「烏峠トレッキングツアー」は、離島の町「御所浦」の魅力を存分に発揮している。</p> <p>② 本地域は、「恐竜の島・化石の島」として全国的に認知度が高く、令和5年度には「御所浦恐竜の島博物館」がオープンする。</p>
課 題	<p>① 宿泊業や民泊業に従事する方々の高齢化が顕著であり、受け入れ態勢の充実と強化が課題となる。</p>

4.2.2 具体的な振興方策

特色	課題	具体的な振興方策	目標数値等	実施期間				実施主体	基本計画 対応番号
				短 期			長 期		
				R5	R6	R7			
① ②	①	・「御所浦恐竜の島博物館」のオープンに伴う来島者への対応強化	・「御所浦せんばいなか」や関係団体との協働による地域活力の活性化 ・飲食に関わる店舗数の増加（弁当販売含む） ・島内交通（レンタカー含む）の充実				→	まち協 + 団体 + 事業者 + 行政	政策 14 15 16 29
①	①	・体験型イベントの充実を目的としたアイランドツーリズム推進協議会への支援 ・後継者の育成を図るため、勉強会の実施	・各種事業の継続と拡大 ・講師を招聘した講演会の開催やワークショップの実施				→	まち協 + 事業者 + 行政	政策 16

4.3 地域振興部門

4.3.1 特色・課題

特 色	<p>① 本地域は離島の町であり、3つの有人島を主軸に大小18の島々から御所浦群島を形成している不知火海に浮かぶ自然豊かな地域である。</p> <p>② 5つの地区振興会が存在し、それぞれ特色ある活動を行っている。</p> <p>③ まちづくり協議会主催の町民体育祭（隔年）を実施している。</p> <p>④ 地域活性化観光の目玉づくりとして宿泊型のマラソン大会である「島あじマラソン大会」や烏峠を活用した「烏峠トレッキングツアー」を実施している。</p>
課 題	<p>① 命の道・生活の道として、御所浦一島化のため、第二架橋は絶対に必要である。</p> <p>② 人口の減少、少子高齢化が急激に進む中で「まちづくり協議会」または「地区振興会」の活動を進めるための負担が大きくなってきている。</p> <p>③ 地域は自分たちでつくり上げていくという認識を持ってもらうための取り組みが必要である。</p> <p>④ 町民体育祭（隔年）は地区振興会対抗として実施しているが、人口減少と少子高齢化により選手の確保が困難な地区が出てきている。</p>

4.3.2 具体的な振興方策

特色	課題	具体的な振興方策	目標数値等	実施期間				実施主体	基本計画 対応番号
				短 期			長 期		
				R5	R6	R7			
①	①	・命の道・生活の道として御所浦一島化のため、絶対に必要な横浦島までの第二架橋の必要性を関係機関へ訴えていく	・関係機関への陳情等（行政と町民の一体化を図り、要望活動を実施する） （年1回）				→	まち協 + 振興会 + 行政	政策 24 26
④	② ③	・宿泊型のマラソン大会「島あじマラソン大会」により離島の町「御所浦」の魅力を発信する（交流人口の増加を図る）	・島あじマラソン大会の継続 （参加者130名）				→	まち協 + 振興会 + 行政	政策 1 16
④	④ ⑤	・烏峠を活用した「烏峠トレッキングツアー」により離島の町「御所浦」の魅力を発信する（交流人口の増加を図る）	・烏峠トレッキングツアーの継続 （参加者20名）				→	まち協 + 行政	政策 16 36

4.4 教育部門

4.4.1 特色・課題

特 色	① 学校統合により、御所浦北地区（横浦島）の小学校・中学校の児童生徒は船（通学ボート）で通学している。 ② 公民館と連携した講演会等を実施し住民の生涯学習活動を推進している。
課 題	① 御所浦北地区（横浦島）に居住する児童生徒の船（通学ボート）での通学は荒天時の通学に危険が伴っている。 ② 小学校運動部活動の社会体育移行に伴い、小学生の体力維持・向上が危惧され、特に北地区児童の通学時間等に影響が出てくる。

4.4.2 具体的な振興方策

特色	課題	具体的な振興方策	目標数値等	実施期間				実施主体	基本計画 対応番号
				短期			長期		
				R5	R6	R7			
①	① ②	・命の道・生活の道として御所浦一島化のため、絶対に必要な横浦島までの第二架橋の必要性を関係機関へ訴えていく	・関係機関への陳情等（行政と町民の一体化を図り、要望活動を実施する） （年1回）				→	学校 + まち協 + 行政	政策 24 26
②		・公民館と連携した講演会等の実施	・御所浦町の歴史に関する語り部や各種公民館事業の実施				→	学校 + まち協 + 行政	政策 8

4.5 保健・医療・福祉部門

4.5.1 特色・課題

特色	① 県による本地域への振興策として、常勤医師が配置され離島医療が展開されている。
課題	① 離島医療は施設の規模や機能から診療の範囲が制限される。 ② 横浦島の医師確保が困難である。

4.5.2 具体的な振興方策

特色	課題	具体的な振興方策	目標数値等	実施期間				実施主体	基本計画 対応番号
				短期			長期		
				R5	R6	R7			
①	① ②	・常勤医師の確保（継続） と地域住民同士がお互い に見守り、安全・安心な暮 らしを支える環境整備	・町内全域（離島診 療の充実、地域にお ける見守り支援活 動の推進）				→	まち協 + 地域 + 行政 + 社協	政策 18 19

4.6 生活環境・防犯防災部門

4.6.1 特色・課題

特色	<ul style="list-style-type: none"> ① 昭和 52 年から採石事業が行われている。 ① 航路振興事業（地域振興策）が展開されている。 ② 消防団御所浦方面隊には女性消防部（18 人）がある。消防団は中央消防署（分署）とともに地域の防災を担っている
課題	<ul style="list-style-type: none"> ① 採石事業が計画どおりに行われておらず本地域の自然環境の破壊につながっている。一日も早く終掘させ、緑化を図ることが重要である。 ② 定期航路事業者の一本化による航路再編（ダイヤ等の改正）により住民の利便性に適した再編となることが重要である。 ③ 公共交通機関の便（乗合バス含む）が少なく、高齢者の病院等への移動が不便な地域もある。 ④ 空き家等の増加により、倒壊の危険性が問題化しつつある。 ⑤ 自主防災組織の機能が十分に発揮されていない。

4.6.2 具体的な振興方策

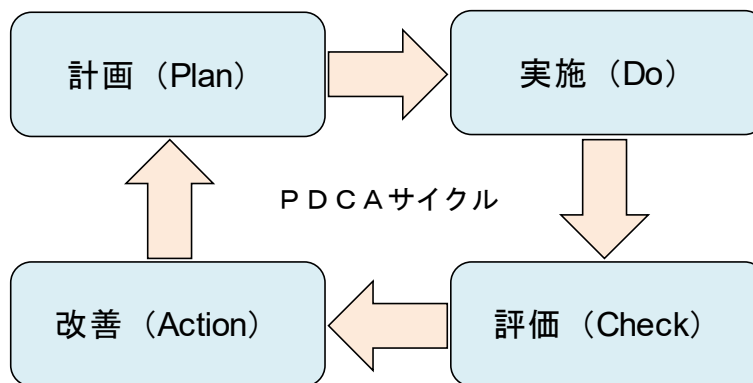
特色	課題	具体的な振興方策	目標数値等	実施期間				実施主体	基本計画 対応番号
				短期			長期		
				R5	R6	R7			
①	①	採石事業の終掘に向けた取組み	採石事業の終掘				→	まち協 + 地域 + 行政	政策 26
②	②	定期航路割引事業の継続と住民の利便性に適した再編	地区住民の利便性の向上と水俣航路の拡充				→	まち協 + 地域 + 行政	政策 29
③	⑤	現行の地区振興会単位の自主防災組織を見直し、行動しやすい行政区単位での組織の確立	町内全域 (3 団体→5 団体)				→	まち協 + 地域 + 行政	政策 30

5 計画の推進体制

本計画の推進体制については、御所浦まちづくり協議会を中心に関係団体及び行政と連携し推進するとともに、進捗状況及び目標の達成度等を年度毎に把握・評価を行い、地域情勢及び社会情勢の変化等も勘案し、必要に応じて計画の内容の見直しを行います。

その手法として、計画（Plan）、実施（Do）、評価（Check）、改善（Action）を繰り返すPDCAサイクルを用いて、継続的に計画を改善していきます。

図18 天草市御所浦地域まちづくり計画の評価・見直し（PDCAサイクル）



5.1 実施

本計画に基づく施策の実施にあたっては、各実施主体を中心に御所浦まちづくり協議会、関係団体及び行政と連携し実施します。また、必要に応じて実行委員会を設置し施策の推進を図ります。

5.2 評価・改善

本計画に基づく施策の実施状況等については毎年度1回以上、御所浦まちづくり協議会で評価を行うとともに、社会環境・地域環境の変化等も勘案し、必要に応じて計画の内容を見直します。

地区の概要(R2国勢調査参考)		
面積(km ²)		3.9
人口(人)	総人口	591
	15歳未満	58
	15～64歳	208
	65歳以上	325
高齢化率(%)		55.0
就業人口(人)	第1次産業	47
	第2次産業	26
	第3次産業	150
世帯数(世帯)	総世帯数	258
	高齢単身者	62
行政区数(区)		3
学校	御所浦小学校、御所浦中学校	
文化財・史跡	天満宮の樟、ともづな石、東岸寺五重塔、唐木崎五重塔、近衛殿跡、祇園社	
その他地域資源	花岡山化石採取場、烏峠、御所浦白亜紀資料館(令和6年3月に御所浦恐竜の島博物館としてリニューアル予定)	
地域伝統芸能	御所浦太鼓保存会、獅子舞	
地域づくり団体	老人会	
地区のいいところ・自慢できるところ		
<ul style="list-style-type: none"> ・葬儀等での地区住民同士の協力体制があり、地域間の連携が取れる。 ・近所同士で挨拶を欠かさない等、人間性が豊かである。 ・烏峠頂上からの景観が望めるなど、自然豊かで風光明媚である。 ・御所浦町の中心に位置し、官公庁・観光施設・金融機関等生活に欠かせない施設が多く存在する。 		
地区が抱える課題・困っていること		
<ul style="list-style-type: none"> ・地理的条件より交通手段が乏しく交通の便がよいくない。 ・基幹産業である水産業の衰退に加え、地域で就労できる環境がない。 ・就労のための人口流出が激しく、特に若者が出ているため地域の高齢化が進んでいる。 ・人口流出や高齢化の影響で耕作放棄地が多く、地域の景観を損ねている。 ・人口流出の影響で空き家が増えている。 		



(毎年ゴールデンウィーク中に揚げるこいのぼりの様子)

◇◆◇ まちづくりの目標 ◇◆◇

テーマ	おもてなしの心溢れる活力ある地域づくり
考え方	御所浦地域には御所浦港や物産館、御所浦白亜紀資料館などがあり、来島者と接する機会が比較的多い。また、令和6年3月には御所浦白亜紀資料館が、御所浦恐竜の島博物館にリニューアル予定であり、来島者の増加が期待される。地域からの人口流出が増加しているなか、来島者に対しておもてなしの心を持って接することで、交流人口の増加、地域の活性化へとつなげていく。また、来島者との交流を通じて、地域の魅力を再発見することにより、活力ある地域づくりを行う。

◇分野別に考えられる地区の現状や課題、特徴及び今後の方向性等と、課題の解決や特徴を伸ばすための基本方針

分野別	現状・課題・特徴・方向性等	基本方針
【A】 産業 経済		
【B】 観光 ・ 文化	<ul style="list-style-type: none"> ・令和6年3月に御所浦恐竜の島博物館が開館予定であり、さらなる来島者の増加が期待される。 	<ul style="list-style-type: none"> ・来島者の増加に伴い、地区内の観光案内の需要が高まると予想されるため、まちなか化石スポット等地区内の観光名所についての学習会を開き、地区住民が来島者に案内できるようにする。そのことを通じて地域のおもてなし向上を図る。
【C】 地域 振興	<ul style="list-style-type: none"> ・地区住民が参加し楽しむことができる行事(夏祭り花火大会、スポーツ大会など)を実施している。 ・人口流出や高齢化に伴い、地域行事への参加者が減少傾向にあり、事業内容や実施体制を見直す必要が出てきている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地区住民全員が参加し楽しむことができる行事を行うことで、豊かな地域の創造を図っていく。また、地域の伝統行事を通じ、地域への理解を深め、伝統行事の継承と地域への愛着心を醸成していく。 ・各種行事等の実施体制の見直しを行うとともに、地域住民が気軽に参加できるような行事を実施する。
【D】 教育	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の歴史や自然について理解を深める教育講座を行っている。(現在は、コミュニティセンター移転に伴い休止中) 	<ul style="list-style-type: none"> ・地区住民による街頭指導や伝統芸能の継承を通じて、児童生徒と地区住民との交流を図り、「地域の子供は地域で育てる」意識の向上を図る。 ・特に御所浦の地質について学習の機会を設け地域の特性について知識を深め、地域に対する愛着心を深めてもらう。(コミュニティセンター再移転までは、代替施設にて実施。)
【E】 保健・医療 ・福祉	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の長寿を祝うため敬老会を実施している。 ・希望する家庭にゴキブリ団子を配布している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・世代間交流を図ることにより、高齢者福祉に対する理解向上に繋げていく。 ・地区住民の健康増進と、健康に対する意識向上を図るため、誰でも気軽に参加できる健康活動等を実施する。
【F】 生活環境 ・ 防犯防災	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的な美化作業や花壇整備により地域環境は良好になっている。 ・事故防止のため街頭パトロールを行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「地域の環境は良くて当たり前」という意識で、年数回、清掃作業等を実施する。作業にあたっては、地区住民全体で行うことで、地区住民全体の環境に対する意識向上を図る。
【G】 都市基盤整備		
【H】 総務・企画	<ul style="list-style-type: none"> ・まちづくりの参考のため、先進地の取り組みを視察している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後のまちづくりの参考のため、先進地の取り組みを視察し地区の活性化を目指す。

御所浦地区振興計画 行動計画

①引き続き実施する事業

分野別	事業名	具体的事業内容	目標数値	実施期間				実施主体	備考
				短期		長期			
				R5	R6	R7	4年以上		
C	地域活性化事業	地域を活性化できるような事業を行う。	事業を1つ以上増やす。					振興会	環境地域づくり部会
C	こいのぼり設置	こいのぼりを住民の方から寄付してもらい本郷公園にこいのぼりをあげる。	毎年1回実施する。					振興会	環境地域づくり部会
C	門松づくり	御所浦への玄関口である本郷港に門松を製作し設置する。	毎年1回実施する。					振興会	環境地域づくり部会
C	十五夜	中学生が主体となって行う十五夜の綱引きや相撲大会の支援を行う。	中学生全員に協力してもらう。					振興会	環境地域づくり部会
C	地区行事助成事業	各地区の行事に対して助成金を出し行事を盛り上げる。	各行事に参加する人数を15名増やす。					振興会	環境地域づくり部会
C	イルミネーション設置	島おこし隊のイルミネーションに併せてコミュニティセンター内にもイルミネーションを飾り、一緒に地域を盛り上げる。	毎年1回実施する。					振興会	環境地域づくり部会
C	ワークショップの開催	親子を対象に、竹灯籠などの制作を通じてこどもたちにいろんなことを経験してもらおう。	年に2回以上行う。					振興会	環境地域づくり部会
F	地区清掃活動	地域の公園や道路等の清掃活動を行う。	年に3回以上行う。					振興会	環境地域づくり部会
C	スポーツ大会	年齢や性別が関係なく子供から高齢者まで楽しめるグランドゴルフ大会を実施し、健康増進と地域の親睦を図る。	毎年1回実施し参加者を40名以上増やす。					振興会	福祉教育部会
D	教養講座	地域の歴史や自然について理解を深める講座を実施する。特に、御所浦の地質やまちなか化石スポット等の観光名所について知識を深める内容を中心とした講座を行う。(R5～R6年度は、代替施設にて実施する。)	毎年1回以上実施し、参加者を15名以上増やす。					振興会	福祉教育部会
E	敬老会	御所浦地区の敬老者に案内を行い、式典を実施する。併せて、演芸や懇親会を行う。	77歳以上の敬老者を対象に毎年9月に1回実施。					振興会	福祉教育部会
E	敬老会	敬老者の長寿のお祝いと会員との親睦を図る。早期より、親睦会の会場づくりから料理のセッティングまで行い、後かたづけまで担当する。	敬老者(77歳以上)の出席を5名程度増やす。					振興会	女性部会
E	ゴキブリ団子作り	梅雨時期に2時間程度、2班に分かれて作業する。ホウ酸や玉ねぎなど安価な材料で作れ、参加者と希望者から200円徴収して、配布する。	配布数100件を目指す。					振興会	女性部会
F	花壇整備事業	各地域の花壇の花植えや清掃活動を行う。	花壇整備は年に2回、清掃活動は年に3回行う。					振興会	女性部会
F	街頭パトロール	青少年に対する街頭パトロールを実施する。	毎年1回実施。					振興会	自治防災部会
G	危険箇所確認	地区内の危険箇所を確認し、行政・関係機関へ対策を要望する。	毎年1回実施。					振興会	自治防災部会
C	夏祭り花火大会	夏祭り花火大会を実施する。また、会場内に夜店を出店する。	毎年1回実施。					振興会	実行委員会
C	地区広報発行	振興会の事業等について広報誌を発行し振興会活動の周知を行う。	毎年3回広報誌を発行し地域住民やふるさと応援寄附者へ送付する。					振興会	事務局
H	視察研修	今後のまちづくりの参考のため、先進地の取り組みを視察し交流を行う	毎年1回実施する。					振興会	事務局

※実施主体は「主体的に事業を実施する団体(振興会、区、PTA等)」を記載。

御所浦地区振興計画 行動計画

②新たに取り組むべき事業

分野別	事業名	具体的事業内容	目標数値	実施期間				実施主体	備考
				短期			長期		
				R5	R6	R7	5年以上		

※実施主体は「主体的に事業を実施する団体(振興会、区、PTA等)」を記載。

地区の概要(R2国勢調査参考)		
面積(km ²)	2.5	
人口(人)	総人口	246
	15歳未満	4
	15～64歳	97
	65歳以上	145
高齢化率(%)	58.9	
就業人口(人)	第1次産業	32
	第2次産業	8
	第3次産業	49
世帯数(世帯)	総世帯数	122
	高齢単身者	29
行政区数(区)	2	
学校		
文化財・史跡	元浦阿弥陀物像、松依姫塚、肥後さざん花	
その他地域資源	弁天島、観世音菩薩、恐竜足跡化石	
地域伝統芸能		
地域づくり団体	婦人会・老人会等	
地区のいいところ・自慢できるところ		
<ul style="list-style-type: none"> ・海、夕日がきれい ・島々が美しい ・人がやさしい ・花がいっぱい美しい ・おおらか 	<ul style="list-style-type: none"> ・仲が良い ・協力性が高い ・健康意識が高い ・犯罪が少ない 	
地区が抱える課題・困っていること		
<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の一人暮らしが増えている ・若い世代が少なく、会合する機会がない ・雇用の場がない ・高齢者の集う場所が少ない ・振興会内の2つの集落において、まちづくりに対する意識の格差が見られる ・店が少なく買い物が不便である ・人口減少により除草清掃などの負担が増えている 		



“花いっぱい”で心癒される「御所浦南」

◇◆◇ まちづくりの目標 ◇◆◇

テーマ	心癒される、スローライフなまちづくり
考え方	御所浦南地区は、町内でもゆったりとした時間が流れる地区である。南地区の温かい人柄に囲まれて、子供から高齢者まで安心して暮らせるまちづくりを目指す。

◇分野別に考えられる地区の現状や課題、特徴及び今後の方向性等と、課題の解決や特徴を伸ばすための基本方針

分野別	現状・課題・特徴・方向性等	基本方針
【A】 産業 経済	高齢化や後継者不足により、産業も衰退し、雇用の場がないため若年層が減少している。	地元より通勤や通学ができるように、定期船の増便などの実現にむけて地区振興会でも協力しなければならない。
【B】 観光 ・ 文化	地区内の花壇やフラワーポットの定期的な管理や整備が必要と思われる。また、地区住民の環境に対する意識を向上させなければならない。	修学旅行などで、地区を訪れる観光客のために地区内を花いっぱいになりたい。
【C】 地域 振興	誰でも気軽に参加できる行事等の実施が必要である。また、地域の高齢者と子供たちのふれあいの場を設けたい。	子供は大人と関わりを持つことで学校では得られない様々な知恵や知識を得ることが出来る。そのため、子供と大人が交流できる場を作り、互いが協力し合いながらできる事業を行っていききたい。
【D】 教育	あらゆる場面で子供の存在が地域を明るくする材料の一つだと思うが、そもそもの絶対数が少ない。 (園児2人・小学生2人・中高生0人)	数少ない子供達が地元を離れず、愛着を持っていつまでも住んでいたい地域にするためにも、様々な地域活動で活躍してもらえるように取り組んでいきたい。
【E】 保健・医療 ・福祉	健康志向が高まっており、ウォーキングをする住民が多くいる。また、「通いの場」に参加する住民も増えてきている。子供から大人まで参加できるスポーツを実施したい。	誰でも気軽に参加できる行事やスポーツ等を行い、地区住民の健康増進を図りたい。また、地域の敬老会を実施する際には、子供たちにも関わりを持たせることで、青少年育成にも繋げていきたい。
【F】 生活環境 ・ 防犯防災	地区の住民による定期的な美化作業により地域環境は良好になっているが、一部の住民しか意識が向上していない。また、防災については、近年、自然災害が多発しているため自主防災部会のさらなる強化を図る。	美化作業は、地域住民全体で行うことで、地域住民の環境に対する意識を向上させながら、地域の環境整備を図っていききたい。また、年1回は防犯防災の講習や訓練を実施していききたい。
【G】 都市基盤整備		
【H】 総務・企画		

御所浦南地区振興計画 行動計画

①引き続き実施する事業

分野別	事業名	具体的事業内容	目標数値	実施期間				実施主体	備考
				短期			長期 4年以上		
				R5	R6	R7			
B	弁天島地域花見会	合併前からの伝統行事。弁天島清掃を行った後に地区住民で花見会を開催する。(100人を越える地域住民が集う)	1世帯1人の参加(約120人)					地区振興会	
C	町民体育祭	町内5地区対抗の巧み競争・徒競走などを行う体育祭。	地区対抗種目の全種目への参加					まちづくり協議会	隔年
E	敬老会	式典、演芸、手作りの料理で長寿をお祝する。(対象者75歳以上)	対象の70%以上の出席(約68人以上)					地区振興会	
D	子供健全育成事業	十五夜の行事。地区ごとに、子供と大人の綱引き大会を実施。	伝統として開催を継続する。					地区振興会	
F	おねび焼	1月7日のおねび焼(どんど焼き)を当地区では4か所で実施。	伝統として開催を継続する。					地区振興会	
F	クリーン作戦	グラウンドの除草や道路・海岸沿いの清掃作業を行い環境美化を図る。(年4回)	全世帯の70%の参加					地区振興会	
C・E	スポーツ大会	グラウンドゴルフやウォーキングといったスポーツイベントを開催し、健康増進と住民同士の交流を図る。	1世帯1人の参加(約120人)					地区振興会	
F	防災訓練	自主防災組織・災害要援護者・消防団などの連携を図ることを目的として実施。	毎年1回開催					地区振興会	
F	花の植栽活動(花いっぱい運動)	年間を通して花のある地域づくりをめざし、年2回、市から配布される花苗の植栽を行う。	9団体(現在)					各団体	

※実施主体は「主体的に事業を実施する団体(振興会、区、PTA等)」を記載。

御所浦南地区振興計画 行動計画

②新たに取り組むべき事業

分野 別	事業名	具体的事業内容	目標数値	実施期間				実施 主体	備考
				短期			長期 5年以上		
				R5	R6	R7			

※実施主体は「主体的に事業を実施する団体(振興会、区、PTA等)」を記載。

地区の概要(R2国勢調査参考)		
面積(km ²)	1.1	
人口(人)	総人口	512
	15歳未満	40
	15～64歳	201
	65歳以上	271
高齢化率(%)	52.9	
就業人口(人)	第1次産業	85
	第2次産業	18
	第3次産業	130
世帯数(世帯)	総世帯数	228
	高齢単身者	53
行政区数(区)	3	
学校		
文化財・史跡	(その他の文化財) ・平家の落人の位牌(弁慶ヶ岳山頂) ・森又左エ門の墓(与一ヶ浦) ・経壺(与一ヶ浦) ・洪屋大神(横浦)・志波大神(与一ヶ浦) ・しばしまさん(崎浦)・地藏さん(杉浦)	
その他地域資源	弁慶ヶ岳・横浦島の不整合・えびす像	
地域伝統芸能	獅子舞・太鼓	
地域づくり団体	青年団・婦人会・横浦クラブ・一心会・与一ヶ浦獅子舞会	
地区のいいところ・自慢できるところ		
<ul style="list-style-type: none"> ・自然豊かで島ならではの風景がある。 ・人と人との繋がりが強い。 ・風習や文化など、島ならではのものがある。 ・「えびす像」など珍しい資源がある。 ・事件や事故が少なく安心して暮らせる。 ・島一周(5.3km)ができ、小さいながらまとまっている。 		
地区が抱える課題・困っていること		
<ul style="list-style-type: none"> ・地元のことは自分たちで創り上げていくという共通認識を持って頂くための取り組みを行い、まちづくりに対する意識の向上をどのように図るかが課題。 ・漁業等の後継者不足。 ・水産資源の減少。 ・少子高齢化による高齢化率の上昇と人口減少。 ・人口流出による空家の増加。 ・イノシシ被害。 		



◇◆◇ まちづくりの目標 ◇◆◇

テーマ	暮らしやすい魅力あふれる島づくり
考え方	横浦島には島特有のきれいな景観と人情と、ゆったりとした時間が流れる風情が残っている。その島特有の景観を残しつつ、地域の特性である互助意識を高め、地域の方々が安全で安心して暮らしやすい環境を整え、島の宝を再発見し、利活用に繋げて、交流人口の増加を図り、活気のある横浦島にしていきたい。

◇分野別に考えられる地区の現状や課題、特徴及び今後の方向性等と、課題の解決や特徴を伸ばすための基本方針

分野別	現状・課題・特徴・方向性等	基本方針
【A】 産業 経済		
【B】 観光 ・ 文化	・観光客を呼び込めるイベントが少ない。 ・観光客が気軽に立ち寄れる拠点施設がない。	横浦島の魅力を発信するとともに関係人口の創出・拡大を図る。 ●よこらじまキャンプの実施
【C】 地域 振興	・少子高齢化が一進んでいく中、地域振興の担い手の減少や地域コミュニティを引き継いでいくことが困難になりつつある。	夏に帰省客との交流の場として、各地区で納涼祭を開催する。また、運動会については、住民同士の融和・親睦を親睦を深めることができる内容に改善していく。 ●地区祭りの実施 ●運動会の開催
【D】 教育	・急速に進む少子化と人口減少により、児童生徒が激減している。	地域の宝である子ども達が体験を通じて健全な心身を育成し、「横浦島」に対する郷土愛を深めてもらう。 ●青少年育成事業の実施
【E】 保健・医療 ・福祉	・高齢者世帯の増加に伴い、高齢単身者も増加傾向にあり、高齢者の孤立化を防ぐ必要がある。 ・参加者の固定化や減少が見られる。	子どもから高齢者まで誰もが参加できるスポーツイベントを実施し、住民の健康・体力づくりを積極的に推進する。また、子どもと高齢者の交流の場を作り、生きがいや意欲の向上を図る。 ●ミニバレーボール、グラウンドゴルフ、ウォーキング大会の実施 ●敬老会の実施
【F】 生活環境 ・ 防犯防災	・草木の手入れ不足による景観の悪化。 ・空き家の増加。 ・耕作放棄地の増加等によるイノシシ被害の増加。	環境美化作業を継続的に実施し、地区内清掃活動推進を図る。また、イノシシなどの有害鳥獣による被害を防止する。 ●地区内清掃活動の実施 ●イノシシ対策事業(電気柵維持管理)の実施
【G】 都市基盤整備		
【H】 総務・企画	振興会役員の担い手不足や地域リーダーの育成が課題となっている。	多くの住民に振興会の事業に参加してもらうために、振興会活動の活動や横浦島の魅力を定期的に発信していく。 ●振興会だよりの発行 ●ホームページの更新

御所浦北地区振興計画 行動計画

①引き続き実施する事業

分野別	事業名	具体的事業内容	目標数値	実施期間				実施主体	備考
				短期			長期 4年以上		
				R5	R6	R7			
B	納涼祭	夏に地域の世代間や帰省客との交流の場として、各地区で納涼祭を開催する。	8月に実施	→				地区	
C	御所浦北地区運動会	御所浦町運動会がない年に地区で運動会を開催し、島全体で体力づくりと親睦を図る。	来場者数400以上	→			→	振興会	
D	青少年育成事業	地引き網やレクリエーションを通じて健全な心身を育成し、「横浦島」に対する郷土愛を深めることを目的に実施する。	年1回実施	→				子ども会	
E	横浦島ウォーキング大会	横浦島に4コースを設定し、ウォーキングを楽しみながら健康増進、参加者同士の融和と親睦を図ることを目的に開催する。また、参加者にはぜんざいを振る舞う。	参加者150人以上	→				振興会	
E	グラウンドゴルフ大会	子どもから高齢者まで世代間交流が図られるイベントとして、全住民を対象に開催する。	参加者50人以上	→				振興会	
E	ミニバレーボール大会	住民の融和と親睦、更には健康増進を図ることを目的として全住民を対象に開催する。	参加者30人以上	→				振興会	
E	敬老会	9月中旬の日曜日に80歳以上の高齢者を対象に開催する。式典では、金婚及びダイヤモンド婚の表彰や保育園児を含む地域の方の演芸等を披露してもらう。	年1回実施	→				振興会	
F	環境美化活動	きれいな島を目指し、クリーン作戦(島内一斉清掃)を実施する。	クリーン作戦参加者数200人以上	→				振興会	
F	イノシシ対策事業	耕作放棄地の増加等により、イノシシ等の有害鳥獣による農作物の被害が深刻化しているため、電気柵の付近の除草等を行い、電気柵の維持管理に努める。	年1回以上	→				振興会	
H	振興会だより発行及びホームページの更新	振興会の活動を多くの住民にPRするため、振興会だよりを発行する。また、ホームページにより、横浦島の魅力を継続的に発信していく。	振興会だより:年2回発行 ホームページ:随時更新	→				振興会	

※実施主体は「主体的に事業を実施する団体(振興会、区、PTA等)」を記載。

御所浦北地区振興計画 行動計画

②新たに取り組むべき事業

分野別	事業名	具体的事業内容	目標数値	実施期間				実施主体	備考
				短期			長期		
				R5	R6	R7	5年以上		
B	よこらじまキャンプ	廃校となった旧御所浦北中学校跡地で地域住民と島外参加者との交流にもつながるキャンプイベントを実施し、横浦島の魅力を発信するとともに関係人口の創出・拡大を図る。	参加者30名					振興会	

※実施主体は「主体的に事業を実施する団体(振興会、区、PTA等)」を記載。

地区の概要(R2国勢調査参考)	
面積(km ²)	5.6km ²
人口(人)	総人口 267人
	15歳未満 34人
	15～64歳 109人
	65歳以上 124人
高齢化率(%)	46.4%
就業人口(人)	第1次産業 30
	第2次産業 16
	第3次産業 51
世帯数(世帯)	総世帯数 135世帯
	高齢単身者 36
行政区数(区)	3区
学校	勇志国際高等学校
文化財・史跡	<p>【史跡】 黒崎古墳、串ヶ崎古墳、田ノ尻古墳、牧向古墳</p> <p>【天然記念物】 アンモナイト化石、あこうの木</p>
その他地域資源	ニガキ化石公園、義経の舟隠し
地域伝統芸能	
地域づくり団体	
地区のいいところ・自慢できるところ	
<p>人柄がよい、人情がある／地域のまとまりがある／ハマボウやあこうの木など自然が豊か／静かな入り江／伝馬船／田ノ頭からの夕日／恐竜だご(だんご)／源平にまつわる言い伝えがある／アンモナイト館／熊本オイスターを作っている／高校がある／すぐに海で泳ぐことができる／ドライフラワーズ(旧 桃太郎一座)</p>	
地区が抱える課題・困っていること	
<p>交通(船・バス)の便が悪い／若者が少ない／人口減少／空き家が多い／店が少ない／イノシシの被害／猫が多い／水路・排水溝の未整備／公衆トイレが少ない／通学路が暗い／地域の人が集う機会が少ない</p>	



(直径60cmの巨大アンモナイトがあるアンモナイト館)

◇◆◇ まちづくりの目標 ◇◆◇

テーマ	みんなが集い、笑顔が生まれる「牧島」
考え方	住民のすべてが何らかの形で地域づくりに参加し、子どもから高齢者まで笑顔になれるようなまちづくりに取り組みます。

◇分野別に考えられる地区の現状や課題、特徴及び今後の方向性等と、課題の解決や特徴を伸ばすための基本方針

分野別	現状・課題・特徴・方向性等	基本方針
【B】 観光 ・ 文化	九州最大級のアンモナイト化石や源平にまつわる言い伝え、あこうの木など様々な資源がある。また、希少蝶のクロツバメシジミや、絶滅危惧種のツメレンゲの生息地でもある。	○豊かな環境と誇りに満ちた島づくり ・自然資源を維持保全し、自然豊かな観光地として情報を発信していく。
【C】 地域 振興	子どもから高齢者まで地域みんなが楽しめるイベントを開催(夏まつり、グラウンドゴルフ大会)している。	○豊かな環境と誇りに満ちた島づくり ・多くの住民が参加できる事業を実施する。
【E】 保健・医療 ・福祉	長寿を祝うため敬老会を実施している。	○“ひと”が穏やかで安心して暮らせる島づくり ・子供と高齢者向けの事業を実施する。
【F】 生活環境 ・ 防犯防災	非常時の避難に不安がある。	○“ひと”が穏やかで安心して暮らせる島づくり ・高齢者が安心して生活できる見守り体制と生活環境を整備する。

牧島地区振興計画 行動計画

①引き続き実施する事業

分野別	事業名	具体的事業内容	目標数値	実施期間				実施主体	備考
				短期			長期 4年以上		
				R5	R6	R7			
B	環境美化事業	きれいなまちを目指し、清掃作業を実施する。また、小中学生に積極的な参加を促し世代間交流を図る。	130人以上の参加					振興会	
B	ホームページ管理・運営	活動状況や地区の風景等を掲載する。	週1回以上の更新					振興会	
C	夏まつり	子どもから高齢者まで楽しめるイベントとしてステージ発表、出店を行う。	来場者数170人以上					振興会	
C	グラウンドゴルフ大会	地区住民及び勇志国際高等学校生徒が参加し、世代間交流や健康増進のために年1回実施。	40人以上の参加					振興会	
E	敬老会	80歳以上の高齢者を対象に式典や園児・地区住民による演芸を披露する。また、ダイヤモンド婚や金婚夫婦を表彰する。	80歳以上の参加者20人以上					振興会	

※実施主体は「主体的に事業を実施する団体(振興会、区、PTA等)」を記載。

牧島地区振興計画 行動計画

②新たに取り組むべき事業

分野別	事業名	具体的事業内容	目標数値	実施期間				実施主体	備考
				短期			長期		
				R5	R6	R7	5年以上		

※実施主体は「主体的に事業を実施する団体(振興会、区、PTA等)」を記載。

地区の概要(R2国勢調査参考)		
面積(km ²)	6.4km ²	
人口(人)	総人口	702
	15歳未満	54
	15～64歳	265
	65歳以上	383
高齢化率(%)	54.6	
就業人口(人)	第1次産業	101
	第2次産業	56
	第3次産業	151
世帯数(世帯)	総世帯数	318
	高齢単身者	81
行政区数(区)	6区	
学校	御所浦保育所	
文化財・史跡	帆柱石、若宮様、嵐口鞆製鉄遺跡、炭坑堀跡、天満宮、金毘羅さん	
その他地域資源	前島の化石海岸、化石散策ロード、背戸輪道、ふれあい広場	
地域伝統芸能	春日神社秋祭り、嵐口春日太鼓保存会、嵐口獅子舞会	
地域づくり団体	十五夜会、里山保存会、嵐口クラブ	
地区のいいところ・自慢できるところ		
犯罪の少ない町／自然が豊かである／伝統行事を大切にしている／スポーツが盛んである／人柄が良い、人情がある／地域のまとまりがある		
地区が抱える課題・困っていること		
若者の働く場所が少ない／耕作放棄地が増えている／高齢者の一人暮らしの見守りや高齢者世帯の健康維持が心配／子どもが安全に遊び場所が少ない／ゴミのポイ捨てが多く見られる		



嵐口春日神社(秋祭り風景) 神社の山は前島

◇◆◇ まちづくりの目標 ◇◆◇

テーマ	安心して暮らせ、活気あふれる地域づくり
考え方	嵐口地区は、今でも昔ながらの近所付き合いが続いている。人情味あふれる地域の特性を生かした互助意識を更に高め、加速する少子高齢化にも対応可能な支援体制の構築を目指した地域づくりを進め、更に町外との交流促進を図り活気あふれる地域を目指す。

◇分野別に考えられる地区の現状や課題、特徴及び今後の方向性等と、課題の解決や特徴を伸ばすための基本方針

分野別	現状・課題・特徴・方向性等	基本方針
【A】 産業 経済	<ul style="list-style-type: none"> ・水産業の養殖や魚貝類を捕る漁業は以前ほど活気がなくなっており、水産物の出荷促進を図りたい。 ・後継者の就業は僅かながら進んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○魚物産品アピール等による後継者不足の解消 ・若手後継者等の新たな発想・手法等により水産物品のブランド化や、6次産業化を目指し、雇用の創出を図る。
【B】 観光 ・ 文化	<ul style="list-style-type: none"> ・国と熊本県の補助金を活用した「烏峠トレッキングコース」が令和2年度より運用を始めた。嵐口地区には嵐口登山口が存在する。 ・嵐口春日太鼓保存会は、町内外で活躍しており、後継者の育成や若手の就業は徐々に進んでおり、今後に期待できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○交流人口の促進で地域の活性化を図る。 ・海、山、魚業集落の豊かな自然環境の保全を行い烏峠トレッキングコースを活用した観光PRを図る。 ・春日太鼓保存会の、島外での活躍する場を推進し、嵐口（御所浦）を島外にPRする。
【C】 地域 振興	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもから高齢者まで地域みんなが楽しめるイベントを開催（夏祭り、運動会、各種スポーツ大会）している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○みんなが参加するまちづくり ・多くの地区住民が参加できる事業を実施する。 ・これまで以上に区民が参加しやすいようイベント内容等を検討する。
【D】 教育	<ul style="list-style-type: none"> ・敬老会等で地域の子供たちとの交流を図っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○地域が未来の大人を育むまちづくり ・少子化した子供たちを、地域と学校や保育所と協力しながら見守り育む。
【E】 保健・医療 ・福祉	<ul style="list-style-type: none"> ・一人暮らしや高齢者のみの世帯割合は依然として多いが、近所付き合いがあるため孤独死等の不安は少ない。 ・島内唯一の診療所が嵐口地区にあり、ドクターの評判もよいことから、安心して暮らせる環境である。 	<ul style="list-style-type: none"> ○現在の環境を維持する。
【F】 生活環境 ・ 防犯防災	<ul style="list-style-type: none"> ・犯罪の発生は見受けられず、日頃は安心して暮らせる環境であるが、台風や大雨による被害を受けやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○安心安全で快適なまちづくり ・防災意識等の啓発による意識高揚を図るとともに、自主防災組織の機能強化を推進する。
【G】 都市基盤整備	<ul style="list-style-type: none"> ・地区の市道沿いには、歩行者用道路がなく歩行者の通行時に危ない箇所がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ○暮らしやすい機能的なまちづくり ・危険箇所を確認や改善を実施し、注意喚起や事故防止を促進する。
【H】 総務・企画		

嵐口地区振興計画 行動計画

①引き続き実施する事業

分野別	事業名	具体的事業内容	目標数値	実施期間				実施主体	備考
				短期			長期 4年以上		
				R5	R6	R7			
C	納涼祭	帰省客が多いお盆時期に、納涼祭イベントを開催し、地区内外から住民が楽しむ。	納涼祭の観客500名以上	→				振興会	
E・D	敬老会	80歳以上が対象で、毎年90名程度の老人を案内。金婚、ダイヤモンド婚、プラチナ婚の表彰を行い、昼食後に実施する演芸等の催しは保育園児から中学生まで地域の子供達が参加。	老人参加者を含め150名以上	→				振興会	
F	一日一汗運動	毎年7月の海の日に合わせて、早朝から各地区ごとに、海岸沿いを重点的に清掃作業を実施。	一日一汗運動の参加者150名以上	→				振興会	
E・D	料理教室	地産地消を念頭に、男の料理や子供や老人達が簡単にできる料理教室を年2回程度、実施。	1回当り30名以上	→				振興会	
E	グランドゴルフ大会	老人の健康づくりはもとより、地域のふれあいを目的として小学生から老人までの参加対象で年2回程度、実施。	1回当り40名以上	→				振興会	
F	防災対策事業	各区または消防団組織で非常時の避難場所を定め、避難訓練を実施する。	年1回以上訓練を実施する。	→				振興会	
B	春日神社秋祭り	旧暦の10月29日前後の週末に春日神社の拝礼があり、保育園児による踊りや地元の児童生徒と春日太鼓保存会による奉納太鼓更と獅子舞会による奉納の獅子舞が実施される。	参拝者を含めて200名以上	→				自治会 振興会	

※実施主体は「主体的に事業を実施する団体(振興会、区、PTA等)」を記載。

嵐口地区振興計画 行動計画

②新たに取り組むべき事業

分野別	事業名	具体的事業内容	目標数値	実施期間				実施主体	備考
				短期			長期 5年以上		
				R5	R6	R7			
B	トレッキング来町者へのおもてなし	御所浦の最高峰である烏峠から嵐口地区までのトレッキングコースが令和2年度より運用を開始したため下山後の休憩所の清掃やおもてなしを実施する。	登山シーズンにおける休憩所やその付近の清掃を月1回実施する。	→				行政 振興会	
G	道路改良	地区内市道には歩道部が無いため、歩道通行時危険が生じているため安全対策を行う。	歩道における安全対策の完了	→				行政	
C	スポーツ大会	隔年実施。地区運動会からスポーツ大会に変更。老若男女が参加するスポーツイベントを実施する。	100名以上		→		→	振興会	

※実施主体は「主体的に事業を実施する団体(振興会、区、PTA等)」を記載。